

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2015-59261

(P2015-59261A)

(43) 公開日 平成27年3月30日(2015.3.30)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
C 2 3 C 14/28 (2006.01)	C 2 3 C 14/28	4 C 0 5 2
A 6 1 C 19/06 (2006.01)	A 6 1 C 19/06	A 4 C 1 6 0
A 6 1 B 17/56 (2006.01)	A 6 1 B 17/56	4 K 0 2 9

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号	特願2013-195449 (P2013-195449)	(71) 出願人	000125347 学校法人近畿大学 大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号
(22) 出願日	平成25年9月20日 (2013. 9. 20)	(71) 出願人	595148176 学校法人大阪歯科大学 大阪府大阪市中央区大手前一丁目5番17号
		(74) 代理人	100157107 弁理士 岡 健司
		(72) 発明者	本津 茂樹 和歌山県紀の川市西三谷930 学校法人 近畿大学 生物理工学部内
		(72) 発明者	西川 博昭 和歌山県紀の川市西三谷930 学校法人 近畿大学 生物理工学部内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 薄膜形成装置およびこの薄膜形成装置を用いたアパタイト薄膜形成方法

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 骨や歯などの硬組織に薄膜（特にアパタイト薄膜）を形成するための薄膜形成装置を提供する。

【解決手段】 薄膜形成装置は、Er-YAGレーザー、Er-Cr-YSGGレーザー、Nd-YAGレーザー、半導体レーザーから選択されるいずれか1つからなるレーザーを照射ノズル5から照射するレーザー照射手段2と、レーザー照射手段2からのレーザーの照射を受けるターゲット部材3と、ターゲット部材3を保持するターゲット保持手段4を備え、ターゲット保持手段4は、照射ノズル5の先端縁7の一部または全部とターゲット部材3との間隔を0.2~20mm離間させ、かつ照射ノズル5から照射されるレーザーがターゲット部材3に衝突することによってターゲット部材3から飛散する物質が対象物に堆積される角度となるように、ターゲット部材3を保持する。

【選択図】 図1

